

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和6年4月発行予定です。

「まちかど」カラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

裏面のQRコードよりアクセス可能です。

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第220号

令和6年(2024)2月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

マイヤーレモン



荏原一丁目の実になったレモンと花

品種や産地が多岐にわたるレモンですが、今回ご紹介するレモンは、荏原一丁目です。

五月にうすピンクの可憐な花が咲き、爽やかな香りを漂わせます。

厚みのある葉に囲まれて、沢山の花が咲き、秋には見事な実を付けます。

普通のレモンと違って、大きくて、果汁がみずみずしく、そのまま食べても、酸味と甘味が口いっぱい広がるということです。

このレモンの木は、日当りの良い場所にあるためか、毎年わたし達の目を楽ませてくれます。東京ではなかなか目にすることの少ない大きなマイヤーレモンの木です。

(中原共和・青木 富代)



荏原第一連合町会
新春初顔合わせ

区政協力委員紹介

荏原第一地区区政協力委員会は、元日に発生した能登半島地震について触れ、被災された方々へお見舞いの言葉を述べられると共に、亡くなった方々のご冥福をお祈りになりました。また今回の甚大な災害を受け、改めて「自助」「共助」「公助」の重要性を挙げ、引き続き防災訓練の実施や、情報の共有を積極的に行っていくことをお話しになりました。

ボッチャは1984年にパラリンピックの正式競技となり、東京2020パラリンピックでは杉村選手が金メダルを獲得し、盛り上がりを見せました。ルールは、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり他のボールに当たったりして、ジャックボールと呼ばれる白いボールに近づくかを競うシンプルなものです。年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できて楽しめます。近隣では荏原区民センターのレクリエーションホールにて、事業部主催により昨年10月に2回目のボッチャ大会が行われました。

誰もが参加できるスポーツ
ボッチャ

町会活動紹介

グランドゴルフ大会 (小山台一丁目町会)



当町会では河野義男町会長のもと、毎年11月に小山台小学校の校庭をお借りして、子どもからお年寄りまで誰もが参加できるスポーツとして、グランドゴルフの大会を30年近く開催しています。今回はグランドゴルフ大会についてご紹介します。

まず事前準備としてボールやクラブ、マーカー等用具を大会役員が用意します。準備が終わると参加者が入場し、開会となります。なお今年度の参加者は36名でした。競技のルールは、ホールインワンは△3打となり、6打で入らない時は7打で計算し、合計8ホール2ラウンドの総打数の少ない人が勝者となります。今回は6名を1チームとして3か所から一斉にスタートし、白熱した試合が展開されました。皆がゲームを楽しんでいる中、昼食のカレーライス作りが進みます。無事にゲームが終了し、成績集計の待機時間には参加者は熱々のカレーライスをほおぼっていました。集計が終わり、皆が食べ終わったところ、表彰式が始まりました。優勝スコアは16ホール36打でした。1位・2位・3位・飛び賞・ブービー賞が授与されました。さらに参加者全員にも参加賞が渡され、大満足の中、大会の幕が閉じられました。

(小山台一丁目副会長・金子 正敏)



荏原区民センター
ボッチャ大会

短すぎたりと、一喜一憂して楽しんでる」とのことです。競技の後は表彰式を兼ねた懇親会を行い、地域の皆さんとの交流を深めています。荏原区民センター事業部では、次回の催し物として、3月1日に落語会(柳家三之助独演会)が開催されます。是非ご期待ください。

(小山四丁目・東 美佐栄)

後地の歴史探訪の集い 品川用水と朝日地蔵尊は同じ年

216号、217号に続けて掲載しました『後地の歴史』は今月号で完結となります。

『後地の歴史探訪の集い』(昨年3月)で、参加者の興味を引いたのは、360年前から約300年間、後地交差点を分岐点に流れていた品川用水の存在でした。品川用水は、1663年に細川家下屋敷(現在の戸越公園)の池を作るため玉川上水から水を引いた戸越上水が1666年に廃止となり、翌1667年



朝日地蔵尊

綺麗なで、長老の親達は泳いだとの事です。昭和15年頃から住宅が増え水質が悪化し、悪臭が漂ったようですが、昭和20年5月の空襲時には、この用水をポンプで汲み上げ消火活動を行い、町内の延焼を防いだという大貢献を果たしました。品川用水はその後暗渠化され(後地交差点は1954年頃)、現在その姿を見ることは出来ませんが、様々な痕跡が残っています。

また後地交差点は、古くは『地蔵の辻』と呼ばれていました。交差点には1667年に平塚村の有志により、建立された朝日地蔵尊があるからです。奇しくも同年は品川用水が誕生した年であり、品川用水の獲得により、それまで苦しめられた千害からの回避、延命・子育てへの祈り等、当時の村人達の様々な思いが込められているのでは、想像を逞しく致しました。最後に、『後地の歴史探訪の集い』は、今後も続けてまいりたいと思っております。(小山二丁目西部副会長・石井 一成)